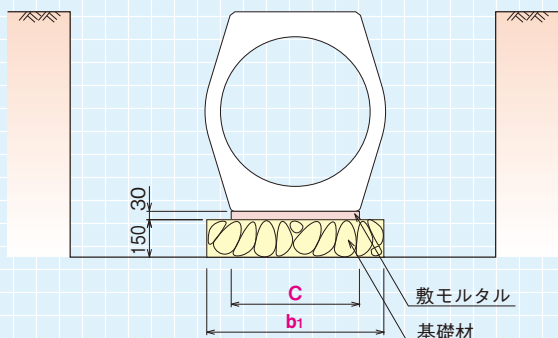
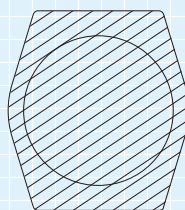


■ 標準敷設寸法

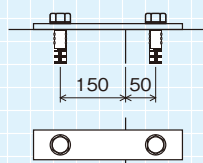
施工断面図



控除断面積



連結プレート詳細図



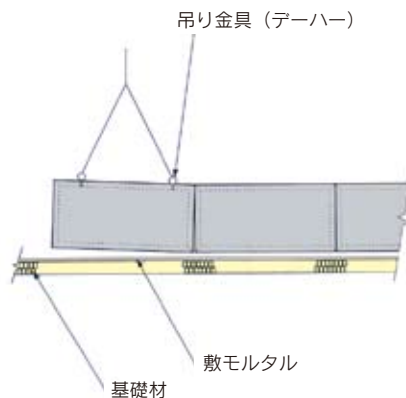
連結プレートの箇所数は、4箇所です。

●基礎数量表

呼び名	b ₁ (mm)	敷設材料 (10m 当り)			管本数 (本)	控除断面積 (m ²)
		敷モルタル (m ³)	基礎材 (m ²)	基礎型枠 (m ²)		
φ 300	470	0.082	4.70	2.00	5.0	0.1458
φ 400	550	0.106	5.50			0.2441
φ 500	640	0.131	6.40			0.3695
φ 600	710	0.154	7.10			0.5059
φ 700	790	0.178	7.90			0.6857
φ 800	870	0.202	8.70			0.8691
φ 900	950	0.226	9.50			1.0897
φ 1000	1040	0.252	10.40			1.3508

■ 施工要領

1. 基礎材
砕石等を用いて施工を行い、強固な基礎としてください。
2. 敷モルタル
敷モルタルは基礎コンクリートの不陸を調整するために使用し、30mm施します。配合は、セメント1に対し、砂3の割合で、水を加えない空練モルタルとしてください。
3. 製品の据付け
据付けは、現場により作業半径が異なりますが、製品質量の3倍くらいの規格の重機を使用します。据付け方向は下流から上流へと設置します。
4. 接合
継手部にはゴムリングを使用しています。滑材等を挿し口、受け口に塗布し、レバーブロック等で引き寄せて接合してください。必要に応じて、連結プレートより連結してください。尚、目地の外周に5mmの隙間を設けて、カーブ等に対応できるようにしています。
5. 埋戻し
埋戻し、盛土のとき、過剰な土圧が作用しないように、頂部、側部は特に良質土を用いて、層の厚さを200～300mmずつ施工し、ランマー等で十分に締め固めてください。
- 6.完了
完成検査を実施。



●使用吊り金具 (デーハー)

呼び名	規格
φ 300～φ 400	1t用 (2ヶ)
φ 500～φ 800	2t用 (2ヶ)
φ 900～φ 1000	4t用 (2ヶ)